

## 目次

本書の役割と施設での利用

### Part I 透析液管理の基礎

#### 透析液の組成と日常管理

- はじめに
- 1. 透析液の組成
- 2. 透析液の希釈・調整
- 3. 透析液の濃度測定
- おわりに

### Part II 透析液安全管理の実際

#### 1. 透析液安全管理体制と透析液安全管理者の役割

- はじめに
- 1. 医療機器安全管理体制の概要
- 2. 透析液安全管理体制
- 3. 透析液安全管理の課題と提言
- おわりに

#### 2. 透析液清浄化ガイドライン運用について

- はじめに
- 1. 透析液清浄化の歴史
- 2. わが国の透析関連機器管理の特徴
- 3. 透析液清浄化ガイドライン作成の背景
- 4. 透析液清浄化ガイドラインの運用方法
- 5. 透析液清浄化ガイドラインの内容
- おわりに

#### 3. 細菌学 基礎 I

- 細菌の特徴、分類及び検出方法など—
- はじめに
- 1. 微生物の定義
- 2. 微生物の分類
- 3. 生菌数試験の対象となる微生物（細菌・真菌）
- 4. 生菌数試験の定義
- 5. 培養の目的
- 6. コロニーの意味
- 7. 培地について
- 8. 培地に含まれる成分とその目的
- 9. 培養温度について
- 10. 環境に存在する上記微生物の特徴と病原菌の違い
- 11. 水のなかに存在する細菌の特徴
- おわりに

#### 4. 細菌学 基礎 II

- 微生物制御、バイオフィーム対策—
- はじめに
- 1. 微生物制御、消毒
- 2. バイオフィーム
- おわりに

#### 5. 透析用水製造装置の原理と運用・管理について

- はじめに—透析用水清掃装置が必要なわけ—
- 1. 透析用水製造の基本構成
- 2. 逆浸透装置

- 3. RO 装置を取り巻く処理装置（RO 後段処理）
- 4. 透析用水製造装置の微生物汚染対策
- 5. 透析用水製造装置におけるバイオバーデンの考え方
- おわりに

#### 6. 化学物質汚染対策

- 化学物質に対する水道水ならびに透析用水の水質基準とその管理—
- はじめに
- 1. 化学物質許容濃度
- 2. 水道水
- 3. 水質管理
- おわりに

#### 7. 細菌検出法の基礎知識と実際 I

- 生菌数試験の基礎知識と臨床現場で行う場合の注意点—
- はじめに
- 1. 生菌数試験の選択
- 2. 透析用水や透析液の生菌数試験の目的
- 3. 生菌数試験の種類と適正な選択
- おわりに

#### 8. 細菌検出法の基礎知識と実際 II

- 透析液製造ラインにおける細菌数の挙動とその解釈—
- はじめに
- 1. 一般細菌について
- 2. 水処理装置内の細菌
- 3. 結果の評価
- 4. 計測頻度
- 5. 迅速検出法
- おわりに

#### 9. エンドトキシンの基礎

- はじめに
- 1. ET の化学構造
- 2. ET の生物活性
- 3. ET の分子量と物性
- 4. ET の不活性化と除去
- 5. リムルス試験と反応原理
- 6. ET 測定上の注意点
- おわりに

#### 10. 細菌エンドトキシン対策

- はじめに
- 1. 目標とする清浄度を達成するには
- 2. ET・細菌の侵入阻止
- 3. 2次汚染防止
- 4. 洗浄消毒剤
- 5. 品質管理
- おわりに

#### 付録

透析液清浄化ガイドライン Ver.1.07